



\*右の写真は、牛乳の代わりに濃いめに抽出した紅茶を入れた紅茶のシフォンケーキです。

《作り方》

準備 オープンを180℃で予熱しておく。  
米粉パンケーキミックスをふるっておく。

1. 卵を卵黄と卵白に分けてボウルに入れる。
  2. 1の卵白を角が立つまでしっかり泡立てる。途中、グラニュー糖を2回程度に分けて加える。
  3. 1の卵黄が入ったボウルに牛乳とサラダ油を加えて混ぜ合わせる。
  4. 3にふるった米粉パンケーキミックスを加えて混ぜ合わせる。
  5. 4に2を少量加えて混ぜ合わせる。2回ほど繰り返す。
  6. 残りの2をすべて5に加え、底からすくうように混ぜてから型に流し込む。
  7. 予熱した180℃のオーブンで30～35分程度焼く。
  8. 焼きあがったら逆さにして完全に冷まし、型から取り出す。
  9. 切り分けて器に盛り付けたら、できあがり。
- ※クリームなどをトッピングしても美味しく食べられます。

今回は、小麦粉の代替品として注目を集めている米粉を使ったスイーツレシピをご紹介します。

米粉を使った場合でも作り方は基本的に変わりませんが、食べた時の食感が異なります。米粉を使うと水分量が多くなるため、しっとりかつモチモチした食感を楽しめます。小麦粉で作ったケーキやパンのぱさつきが気になる方には、米粉の使用がおすすめです。

今回のレシピでは作りやすさを考えてパンケーキミックスを使用しています。生地を流しこむ型を変えればスポンジケーキも作れます。ぜひお試しください。

《材料(21cmシフォン型)》

- 米粉パンケーキミックス ----- 1袋(200g)
- 卵 ----- 10個
- グラニュー糖 ----- 200g
- 牛乳 ----- 120ml
- サラダ油 ----- 120ml

《栄養成分(1人分・16等分)》

- エネルギー 191 kcal
- 炭水化物 18.1 g
- たんぱく質 4.3 g
- 脂質 11.4 g
- 塩分 0.2 g

お知らせ

Wi-Fi環境が整いました！～藤沢市民病院 フリー Wi-Fiのご案内～

これまで、当院では患者サービス向上の一環として、東館1階メインエントランス、各外来待合など、主に共用スペースを中心に院内Wi-Fi環境を整備し、ご利用いただけてまいりました。

この度、フリー Wi-Fi接続エリアを拡大するための工事が完了し、東館・西館・救命センターの各病室においても利用が可能となりました。なお、利用にあたりましては、利用規約を熟読・ご承認の上、他の患者さんのご迷惑とならないよう、節度を持った利用を心がけていただきますよう、お願いいたします。



藤沢市民病院公衆無線Wi-Fi利用規約

SSID fch-guestnet  
PASSWORD fujiwifi

ふれあい 70



「雛まつり」 画 I.Tamura

今号の内容

- ◇こどもたちの安心・安全のために
- ◇病院を支える「ナースエイド」
- ◇当院の内視鏡診断・治療(内視鏡センター)のご紹介
- ◇病院発クッキングコーナー
- ◇お知らせ

こどもたちの安心・安全のために

小児救急科 福島 亮介

藤沢市民病院には、“こども家族支援チーム”という多職種によって構成されるチームがあります。今回、この“こども家族支援チーム”についてご紹介したいと思います。

■こども家族支援チームの成り立ち

こども家族支援チームの歴史は浅く、虐待防止委員会の下部組織として本格的な活動を開始したのは2020年の4月からです。

虐待防止委員会は文字通り、患者さんやそのご家族が児童虐待、高齢者虐待、そしてDV(Domestic Violence)などに苦しんでいるかも知れない場合に病院としての方針を決定するチームですが、虐待ではないが、保護者や家族、教員など、こどもに関わる人たちの不注意や無知によって生じる事故が少なからずあり、このような事故を再発させないために、問題を共有し、共に考え、時にアドバイスをするチームが必要であろうとの思いから“こども家族支援チーム”は結成されました。当初、事故の再発予防が活動の主体でしたが、多くのご家族と関わっていく中で、育児そのものや養育環境で困っている方が多くいらっしゃることに気づき、養育環境を整えるためのサポートも非常に重要なチームの活動内容となっています。

■チーム構成

チームメンバーは診療部医師(主に小児救急科医師)、看護師、そしてメディカルソーシャルワーカーな



ど院内多職種の職員から成ります。なお、チームリーダーは現在診療部医師（2020年4月～小児救急科福島亮介）が担っております。

### ■活動目的

“子どもたちが安全に安心して健やかに成長していくため”に子どもたち自身だけでなく、ご家族や養育に関係する方々へのサポートをすることを目的としています。

### ■活動内容

チームは月に1回の定例会議にて活動報告や情報共有を行い、院内職員への啓蒙活動としてニュースレターの発行（2ヶ月に1回）、院内勉強会の開催（年2回）をしています。また、介入が必要と考えられるケースが発生した場合に適宜活動しています。具体的な活動内容としては、主に以下の2つが挙げられます。

**<事故予防>** 救急受診する子どもたちの中には、ご家族や子どもに関わる方々の不注意、無知によって起きた事故が原因で怪我を負ってしまう子が少なからずいます。正しい知識を持って予防する意識があれば防ぎ得た事故をなくすために、ご家族や子どもに関わる方々と問題を共有し、その問題を解決するために共に考え、時にアドバイスをし、意識の向上を図り事故予防、再発予防を行っています。

**<養育環境の調整>** 子どもたちは様々な理由で受診し、入院します。彼らのご家族の方々と接していると、ワンオペ育児で1人で全てを抱え込んでしまっている親御さん、育児のことで悩みを抱えているが相談相手もなく、利用できる社会的サービスなどもご存知ではない親御さんなどが多く存在することに気づきます。受診や入院の直接的な原因になっていなくても、育児に関して困っていることがあれば、その解決に向けて、特にこの場合はメディカルソーシャルワーカーの関わりが非常に重要になりますが、ご家族の悩みを傾聴し、様々な提案を行い、時に育児に関する公的なサービスの紹介などを行いながら、養育環境の改善に協力させていただいています。

### ■子ども家族支援チームへご相談がある場合には

育児におけるご相談がある場合には、まずは患者総合支援センター（子ども家族支援チームの事務局があります）にお声かけください。病院として介入できることがあれば行い、必要であればしるべき機関・組織への取り次ぎや紹介をさせていただきます。



## 病院を支える

### ナースエイド

当院では、10月から“質の高い看護を提供するため”に、夜間看護補助者（ナースエイド）を各病棟に配置しています。現在は、総勢18名の方が勤務しています。勤務時間は、16時30分から23時まで、16時30分から7時30分までの2つの勤務形態となります。業務内容は、療養生活上の世話（食事、身体清潔、安全安楽、排泄に関する業務）、病室内の環境整備やベッドメイキング、病棟内の看護用品及び消耗品の整備・整頓などです。

7A病棟に勤務しているナースエイドの坂上暢さんは、11月から月10回程度 16:30から7:30まで勤務しています。以前、施設でも勤務されていたこともあり病院に興味があったのと、親の介護の事も考え当院を希望されたそうです。自営のお仕事と並行し、将来の夢を叶えるために頑張っています。一緒に働いている看護師からは、「ナースエイドさんが、高齢の方の見守りやトイレ介助などしてくれるのでとても助かります」と。坂上さんは、「人の為になりますし、学びもあって楽しい」と話されていました。

記事 看護部 川田弘子



## 当院の内視鏡診断・治療（内視鏡センター）のご紹介

### ■世界をリードする日本の内視鏡診療

近年の内視鏡機器の進歩は目覚ましく、カメラのハイビジョン化やズーム機能を用いた拡大観察、光デジタルによる画像強調観察技術である狭帯域光観察 Narrow Band Imaging (NBI)、あるいは超音波内視鏡といった技術を用いることにより1mm程度の早期がんも発見・診断が可能となってきております。

当院にも大学病院など専門施設と同じ最先端内視鏡機器が導入され、さらにブルーライト照明や4Kモニターなど、内視鏡診断治療に最適な素晴らしい環境が整いました。

こうした素晴らしい環境のなかで看護師をはじめとしたスタッフと力を合わせ、患者さんにとって苦痛のない安心な内視鏡診療を日々心がけております。

### ■ハイクオリティで安全安心な内視鏡治療を積極的に実施

当センターでは主に消化管腫瘍（食道がん・胃がん・大腸がん・十二指腸腫瘍）はもちろんのこと、耳鼻科医と内視鏡医が連携して咽頭がんに対する診断治療等も行います。

今まで外科切除とされてきたような大きな消化管がんに対しても正確な内視鏡診断のもと、胃・大腸カメラを用いて約1.5mm幅の小さなナイフで繊細に剥離切除するESD (Endoscopic Submucosal Dissection : 内視鏡的粘膜下層剥離術) を積極的に行い、実施件数も年々増えてきております。

また安全性の確保を目標に、外科医との万全なバックアップ体制の構築や、併存疾患の多いご高齢の患者さんや難易度の高い治療困難症例などに対しても合併症なく安全に治療が行われるよう麻酔科医師と連携した全身麻酔下でのESDも毎週実施しております。

さらに、大学病院と定期的なカンファレンスを行い、先進医療を含む最先端医療の情報提供・紹介を行うなど、高度専門医療施設とのシームレスな体制も整えております。

### ■患者さんに寄り添う内視鏡診療

すべては藤沢市民病院内視鏡センターを受診される患者さんにとって、「ここに来て本当によかった」と心から思っただけのよう、安心安全かつクオリティの高い内視鏡診療をモットーに、当院内視鏡センタースタッフ一丸となって誠実に努めてまいります。

応援のほど何卒よろしくお願いたします。



消化器内科/内視鏡センター  
福地剛英



ブルーライト照明により、内視鏡画像の視認性向上と、患者さんのリラックス効果が期待できます。

